

平成18年度「診療所薬剤部門の現状調査」記載要領

回答締切日 平成19年3月31日

- (1)平成18年6月1日現在又は平成18年6月の1か月のデータをご記入下さい。
- (2)記入が不可能の項目は空欄でも結構です。可能な限りご記入をお願いいたします。
- (3)薬剤部門にデータのない項目については、事務部門等と相談してご記入して下さい。
- (4)小数点以下の数値がある項目は、小数点第2位を四捨五入し第1位までご記入下さい。
- (5)その他を選択された場合は、その内容を簡潔にご記入ください。

この調査に関する問い合わせは、日本病院薬剤師会事務局総務課をお願いいたします。

TEL 03-3406-0485

I. 経営主体分類 (1～8)

該当する番号に○をつけてください。

II. 施設機能分類 (1～3)

該当する番号に○をつけてください。2に○の場合は、それぞれ病床数をご記入ください。
3に○の場合は、分類を具体的にご記入ください。

III. 対象患者 (1～4)

該当する番号に○をつけてください。

IV. 一般調査 (1～46)

1. 平均外来患者数

平成18年6月1日～6月30日の外来患者延べ数を、この期間における実働診療日数で除した数をご記入下さい。(平日は1、半日は0.5としてカウントして下さい)。

2. 許可病床数

承認又は許可を受けた病床数を記入して下さい。合計及び病床区分毎にご記入下さい。

3. 平均在院患者数

平成18年6月1日から6月30日の毎日午後12時(24時)現在の在院患者数を合計し、30で除した数をご記入下さい。可能な限り病床区分毎にご記入下さい。区分が不明な場合は合計だけで結構です。

4. 薬剤部門職員数

薬剤師数は採用予定者数を含みます。

常勤と非常勤を区別し、非常勤職員数は次に示す式により計算して下さい。

$$\text{非常勤職員数} = \frac{\text{非常勤職員の1週間の実労働勤務時間 (複数の場合は合計)}}{\text{常勤職員の1週間の勤務時間数}}$$

薬剤部門の薬剤師で、治験センターなどに出向している場合は、出向者の欄に人数をご記入下さい。兼務の場合は出向割合を計算し、小数点でご記入下さい。なお、薬剤師数欄には出向者も含めた合計をご記入下さい。

5. 入院処方せん

平成18年6月1日～6月30日の1日平均枚数(合計を30で除した数)をご記入下さい。

6. 外来処方せん(院内)

平成18年6月1日～6月30日の1日平均枚数(この期間の実診療数(平日は1、半日は0.5)で除した数)をご記入下さい。

7. 院外処方せん発行

院外処方せんを発行している施設では、平成18年6月1日～6月30日の1日平均院外処方せん発行枚数(この期間における実診療日数(平日は1、半日は0.5)で除した数)をご記入下さい。

8. 注射薬処方せん

平成18年6月1日～6月30日の1日平均注射処方せん枚数(合計を30で除した数)をご記入下さい。

枚数の計算は下記の方法のうち、貴施設に該当する方法で計算して下さい。

- 1枚の処方せんに1日分が記載され1日分を調剤する…これを1枚と計算
- 1枚の処方せんに1回分が記載され1回分を調剤する…これを1枚と計算
- 1枚の処方せんに複数日(7日分など)分が記載され、処方日数分を1回で調剤する……これを1枚と計算
- 1枚の処方せんに複数日(7日分など)分が記載され、分割して調剤する
たとえば、7日分を2日分、2日分、3日分に分割して調剤……分割した回数を1枚と計算(例では3枚とする)

なお・注射薬処方せんとは1日分または1回分の投与量が個人毎に、また手技(投与方法)も記載しており、患者毎に追跡できる書式のものを指します。

9. 夜間・休日体制

「一部当直」：曜日あるいは輪番制等により行う当直等

「ON CALL」：自宅待機(当番制など)で必要なときに呼ばれる場合

「交替制勤務」：3交替制や変則2交替制などの交替制勤務

「その他」：残り番など当直体制ではない業務体制を取っている場合などで、具体的にご記入下さい。

10. 医療保険 訪問薬剤管理指導

平成18年6月の診療報酬請求件数(レセプト)に基づき、請求件数と請求患者数を記入してください。

11. 介護保険 居宅療養管理指導(薬剤師が行なう場合)

平成18年6月の診療報酬請求件数(レセプト)に基づき、請求件数と請求患者数を記入してください。

18. 注射剤混合業務(無菌製剤処理(免疫不全等))

白血病、再生不良性貧血、骨髄異形生成症候群、重症複合型免疫不全症等の患者及び後天性免疫不全症候群の病原体に感染し抗体の陽性反応がある患者であって、無菌治療室管理加算及びHIV感染者療養環境特別加算を算定する、患者と同等の状態にある患者に無菌製剤処理を行った場合の件数を記入して下さい。

19. PETの保有と薬剤師の関与

PETとはPositron Emission Tomographyで、短寿命核種標識薬剤2-デオキシ2-[18F]フルオロ-D-グルコースを用いる診断装置です。薬剤師の関与としてはサイクロトロン運転、PET薬剤合成、品質管理などがあります。

31. 卒前実習

病棟での実習の有無も記入して下さい。平成17年度実績がない場合でも、受入可能施設は「実施」として下さい。

33. 薬剤師採用時の応募状況

平成17年度の採用がない場合であっても過去5年以内に採用があった場合には、採用年度を修正の上、直近のデータをご記入下さい。

34. 診療報酬の改定の希望

診療所における保険上の報酬に対して最も改定してほしい項目を選ぶか、その他にご記入ください。

35. 薬剤管理指導について

薬剤管理指導とは、入院患者に対して投薬又は注射及び薬学的管理指導を行う業務のことを指します。

37. 薬歴に基づく調剤

本調査において、ハイリスク薬とは抗がん剤、糖尿病薬、ジギタリス、ワルファリン等と定義してください。

39. ハイリスク薬について

本調査において、ハイリスク薬とは抗がん剤、糖尿病薬、ジギタリス、ワルファリン等と定義してください。

40. 医薬品情報の収集・解析・評価・提供

製造販売後安全性情報は（旧）市販後安全性情報のことです。

41. 医薬品の採用

使用制限とは、処方医を限定する、投与日数を限定するなどのことです。

42. 後発医薬品の採用状況

採用割合は、平成17年度の内服薬、外用薬、注射薬それぞれにおいての

後発医薬品採用品目数÷採用品目数×100

後発医薬品購入金額÷採用薬購入金額（薬価ベース）×100

を記入してください。

46. 委員会への要望事項

今後、診療所委員会への要望事項あればご記入ください。

（例）診療所に勤務する薬剤師を対象としたセミナーの実施、日病薬ホームページへ掲示板を設置するなど。

調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

貴重な資料として、有効活用させていただきます。